



2020年8月

# カレンダーアウトLOOK

今月の外為マーケット動向

WesternUnion **WU**

Business  
Solutions

# USD

ジョー・マニボ, カレンシーストラテジスト - 北米

## 8月イベント

3日 月曜日 ISM製造業景況指数

7日 金曜日 非農業部門雇用者数

11日 火曜日 卸売物価指数

12日 水曜日 CPI

14日 金曜日 小売売上高

19日 水曜日 FOMC議事録

27日 木曜日 第2四半期GDP (改定値)

28日 金曜日 個人消費支出

## 7月のレビュー

センチメントが急激に悪化したことで、米国通貨はこのパンデミック期の安値を更新した。ドルは、米国でのコロナウィルスの流行が加速し、今後数カ月間の目立った復調の見通しが後退したことから下落した。一方、欧州ではEUが同地域をより円滑な回復軌道に乗せるべく、歴史的な財政パッケージに合意、その後成長見通しに改善が見られた。

- 弱気の兆候:米ドル指数はパンデミック期の最安値であった94.65を下回り、短期的には、一段安となる可能性がある。
- ドナルド・トランプ大統領は、フロリダ州ジャクソンビルで8月24-27日に予定されていた共和党全国大会を「適切な時期ではない」と中止した。
- 米国の週間失業保険申請件数の増加は、7月の雇用が6月の記録的な480万人増の伸びを下回る可能性があることを示唆した。

## 8月の見通し

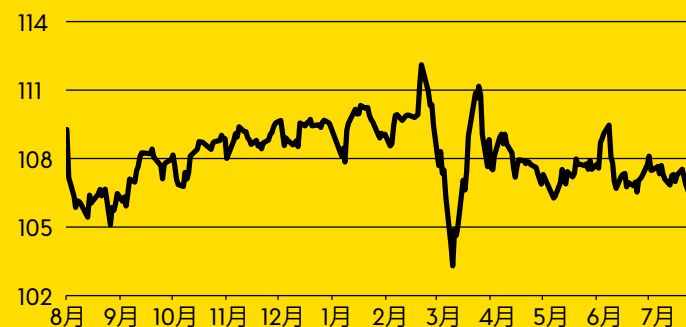
米ドルは、感染症の流行や経済への影響に加え、ヒューストンと成都の主要領事館閉鎖に続く米中関係の悪化など、地政学的要因に左右される可能性がある。ドルの見通しは暗くなったが、米国の経済指標が改善したり、ウィルスの急速な拡大を鈍化させれば、その恩恵を受けられると思われる。ウォール街でリスクに対する盛り上がり沈静化すれば、ドルにとっての支援材料となろう。

- 11月初旬の米大統領選挙が近づくとつれ、ドルにとってマイナスの政治的な不確実性が高まる可能性がある。
- ドル指数は3月20日のピークから9%前後下落している。
- 年初来では、ドル指数は約2%下落している。

## 経済データ

基準金利:	0-0.25%
GDP (年率):	-5.0%
インフレーション (年率):	1.0%
失業率:	11.1%
貿易収支:	546億ドル (赤字)

## ドル/円 (直近一年)



## 8月イベント

5日 水曜日 PMI (改定値)

5日 水曜日 小売販売

11日 火曜日 ドイツZEW指数

14日 金曜日 第2四半期GDP (改定値)

20日 木曜日 ECB議事録

21日 金曜日 PMI調査 (8月分速報値)

21日 金曜日 ムーディーズのフランス信用格付

22日 土曜日 ドイツ第2四半期GDP (改定値)

28日 金曜日 経済信頼感

## 7月のレビュー

7月、投資家から欧州の見通しに対する信頼感が幅広く高まり、ユーロ相場は急上昇した。欧州では、パンデミックが収束しつつあるとみられる中、5月以降は回復基調にあり、同地域の「V字型」回復を巡る思惑が強まっている。このセンチメントは、EU加盟国が7,500億ユーロの景気刺激プログラムに署名したことで、特に強固なものとなった。

- EU首脳は、危機の間に最も影響を受けた欧州諸国を支援するために、助成金と融資を組み合わせた回復計画に合意し、意見の相違を乗り越えた。
- 7月のPMI調査の速報は、2月以来ユーロ圏で初めて景気拡大を示唆し、過去2年以上における最大の月間伸び率となった。
- 7月末の1週間前、ユーロ/米ドルは2018年1月以来最大の月間の上げ幅(3%)を記録し、2018年9月以来の高値(1.16ドル)をつける勢いとなった。

## 8月の見通し

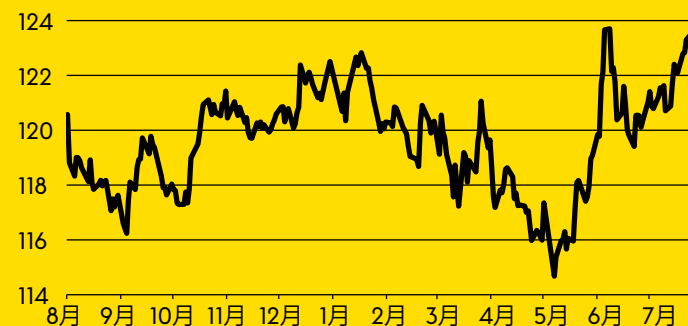
先月見られたユーロの力強い上昇傾向に注目すべきだろう。上昇余地はまだ十分にあるものの、このような高値水準(1.15~1.16)では利益確定への誘惑が強まることから、ここ最近の強気な見方が試されることとなる。ユーロのボラティリティは、EUと米国の経済モメンタムの乖離によって決まる可能性が高い。しかしながら、相場変動はまた、1)ワクチンの開発競争、2)米中間の緊張、そして3)株式市場の変動などに関連する世界的なリスクに対するセンチメントのオンオフ次第の面もあろう。

- 5月以来7%以上も反発した後、ユーロの上昇は新しい材料がなければ一服しそうだ。9月まで主要イベントがない中、調整の入り可能性がある。
- 欧州における回復のペースは、ユーロ需要の主要な原動力である。第2波の脅威と同様に、地域における健康状況への懸念は依然として存在する。
- 先月、ユーロ相場は株式と連動していた。市場に何らかの神経質な徴候が見られるようなら、おそらくユーロ高に歯止めがかかるだろう。

## 経済データ

基準金利:	0.0%
GDP (年率):	-3.1%
インフレーション (年率):	0.3%
失業率:	7.4%
貿易収支:	94億ユーロ

## ユーロ/円 (直近一年)



## 8月イベント

**3日**  
月曜日  
Caixin製造業購買担当者景気指数 (PMI)

**5日**  
水曜日  
Caixinサービス部門購買担当者景気指数 (PMI)

**7日**  
金曜日  
貿易収支

**10日**  
月曜日  
消費者物価指数 (CPI)

**14日**  
金曜日  
鋳工業生産

## 7月のレビュー

中国人民元は先月、米ドルに対して4ヶ月ぶりの高値をつけたが、これは中国人民元の強さというよりも、米ドルの弱さによるものであった。

中国人民元相場は依然として二つの要因の間に閉じ込められている。一方では、ポジティブな経済データは地域成長の改善を示唆している。しかし、米国と中国との間の緊張が続いていることが、中国人民元への圧力となっている。

- 4-6月期の中国経済は、11.5%と期待を超える成長率で、予想の9.6%を大幅に上回った。今回の最新データは、COVID-19から中国経済がどのように回復したかを示す指針として注目された。

## 8月の見通し

今月、そして年末までのほとんどの期間において、米中関係をめぐる地政学的な懸念が中国人民元を動かす可能性が高い。

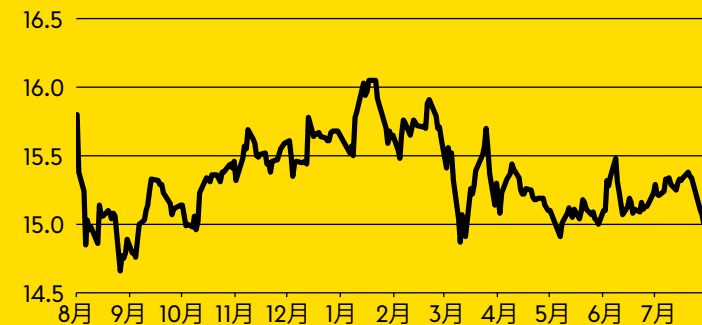
来るべき米国大統領選挙では、両陣営の候補から反中国の声が高まっている。

- 米ドル安により、米ドル/元相場は12年ぶりの高値である7.20水準を大きく下回っている。しかし、地政学的緊張が高まれば、市場はこの水準に戻る可能性がある。
- 8月14日に予定されている中国の鋳工業生産は、中国の景気回復の兆候が見られるかが注目される。

## 経済データ

基準金利:	3.85%
GDP (年率):	3.2%
インフレーション:	2.5%
失業率:	3.8%
貿易収支:	464億ドル

## 人民元/円 (直近一年)



# Don't let the currency market detract from your bottom line.

WesternUnion 

Business  
Solutions

©2020 Western Union Holdings Inc. All rights reserved.

ウエスタンユニオン・ビジネス・ソリューションズは、ザ・ウエスタン・ユニオン・カンパニーの事業部門です。ウエスタンユニオン・ビジネス・ソリューションズ・ジャパン株式会社(「WUBSKK」)を通じて日本で事業を展開しています。

Western Union Business Solutions (Australia) Pty Limited(以下「WUBSA」)は、楽天銀行に対しWUBSKKが提供するサポートサービスを提供しております。WUBSA & WUBSKKを合わせて「WUBS」といいます。

楽天銀行は、顧客に対してWUBS同等の外国為替および決済サービスを提供することができます(ただし楽天銀行のサービスを利用した場合も当該顧客がWUBSの顧客とはなりません)。本資料カレンダーアウトルックは受領者の一般的な情報収集目的のためにのみ作成されたものであり、WUBSに対するいかなる責任も拘束力も持たないことを確認し、同意することを前提に、本資料を本契約に記載される情報に対する真のビジネスニーズを有する可能性のある顧客と共有することを楽天銀行に許可したものです。情報は十分に注意して作成されていますが、WUBSはその正確性を保証しているものではありません。楽天銀行の顧客は、本資料に記載されている情報を取扱う前に、独自に確認をしてください。WUBSと楽天銀行との関係は、契約に準拠しています。WUBSと楽天銀行の顧客との間には契約関係はありません。 538357293-2020-07